

まなびの広場

令和4年8月号

3年振りの「ねぶた運行」賑やかに

知内高校では学校祭が開催され、3年振りに「ねぶた」や「ねぶた囃子（ねぶた隊列）」が町民に披露されました。この祭りは、1971年（昭和51年）、町職員組合青婦部が町を活性化させようと「知内ねぶた」を創作し街を練り歩き、翌年には青森の「統制踊り」を知内流に変えて「ねぶた囃子」として「ねぶた」と一緒に披露するようになったそうです。最初は湯の里温泉「姫の湯」から丹前下を借りてみんなで着て歩き、翌年、自分たちでオリジナルの名前を入れた生地を購入し手縫いで浴衣を作って着たそうです。この盛り上がりは町内各地域に広がり、ねぶたの制作から運行まで多くの町民が参加してより活気ある祭りとなっていました。しかし、時代とともに祭りは衰退していき「ねぶた囃子」は踊られなくなってしまいました。

学校祭でのねぶた制作は、子供のころからねぶたに参加して慣れ親しんでいた生徒の希望で早い時期から取り入れられました。そのような中、2016年「第40回知高祭」を記念して、文化の継承としての「ねぶた囃子」も知内高校生が忠実に再現しました。かつて祭りを盛り上げていた人たちや当時の賑わいを知っている人たちにとって、胸が熱くなる光景だったそうです。

教育長 堂 下 則 昭



図書室新刊情報



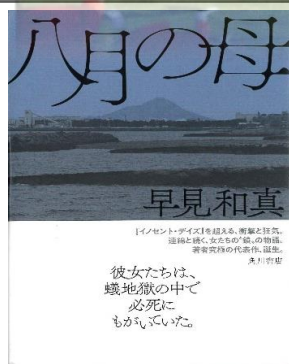
星屑／村山由香

田舎者のミチルとサラブレットの真由。過酷な芸能界で、少女たちをスターダムに押し上げようとする女性マネージャーの前に立ちはだかる壁……。



スマホになじんでおません／群ようこ

・幾重にも要求されるパスワード地獄・キーボード無し、指先での難儀な文字入力・画面が小さくて文字が読めない・いちいち必要な充電作業がわずらわしい……。



八月の母／早見和真

人間の内に秘められた負の感情が一気にむき出しになっていく。強烈な愛と憎しみで結ばれた母と娘の長く狂おしい物語。ここにあるのは、かつて見たことのない絶望か、希望か……。

北海道立図書館の図書
300冊が入りました。
8月1日から貸し出し
を行います。



鈴木秀明遺作展 第27回パレットの会作品展

パレットの会と町教委共催の「鈴木秀明遺作展・第27回パレットの会作品展」が、7月1日から13日まで、知内町中央公民館講堂で開催されました。

鈴木秀明氏は、昭和54年から矢越小学校教諭として勤務。昭和55年には「パレットの会」を設立し、会員の指導にあたりました。知内とゆかりが深いことから、妻の久二子氏から、秀明氏の遺作57点が町教委へ寄贈され、遺作展では、その中の17作品が展示されました。



林俊紀 盆栽展

町内元町在住の林俊紀氏の盆栽作品を展示する「林俊紀盆栽展」が、7月1日から13日までの11日間、知内町中央公民館ロビーで開催されました。

今年は、大きな作品を中心に7点が展示され、訪れた多くの方々の心を癒していました。



「幼児家庭教育事業」 のびのび教室(育児教室)

保護者同士の交流や遊びを通じて子供の成長を支援します。

<第2回目開催しました>

日 程：令和4年6月22日(水)

内 容：親子運動教室



<第3回目>

日 程：令和4年8月24日(水)

場 所：しりうち認定こども園 子育て支援室

内 容：講話「外遊びについて」 & 「プール・水遊び」

申 込：教育委員会社会教育係まで ☎5-6855

初めての方も、お気軽にご参加ください。

『子育てママさんからのコメント』

知内町に越してきて初めに人の温かさに驚きました。すれ違おうと挨拶をしてくれる学生さんや子どもを連れていっていると声をかけてくれる方が多く他の地域にはない良い所だと思います。

子どもを連れて行ける施設だったり、ジムやプール等が無料で利用できたり、コロナ禍では町からの手当でも手厚く驚きました。

子どもたちが多くの自然に触れ生活できる所も魅力だと思います。公園やスポーツセンターには子どもたちが楽しめる物も多いのですが、小さい子どもたちがのびのび遊べる遊具や公園がもう少し増えるとよりよくなるのではないかと思います。

こども園の遊具が使用できるようになると遊びの幅も広がり良いと思います。住みやすい街なので、乳幼児期からALTとの関わりだったり、子どもが参加できるイベントだったり、教育に力を入れ、ここで育児をしたいとたくさんの人に思ってもらえる町に、よくなってけると嬉しく思います。